

別添資料

令和7年度（2025-26年シーズン）広島県スキー場来訪者数の動向

令和8年8月

ひろしま雪山誘客促進協議会

1. 全体推移

県内スキー場の来訪者数は、積雪状況をはじめとする気象条件の影響を大きく受ける傾向にある。過去5年間の実績においても、積雪日数の多寡と来訪者の増減には一定の連動が見られ、積雪日数が多いシーズンには来訪者が増加し、積雪に恵まれないシーズンには減少する傾向が確認される。また、人工降雪設備の有無にかかわらず、気象条件による来訪者数への影響は共通して見られることから、県内スキー場全体として、積雪状況が来訪者を左右する大きな要因となっている。一方で、来訪者の居住地や年代等にはスキー場ごとに特徴が見られ、各スキー場の立地やアクセス、施設特性等によって主な商圈が異なっている。

2. 市町ごとの特徴

(1) 廿日市市（めがひらスキー場）

直近シーズンにかけて、来訪者数は回復・増加傾向にある。来訪者は広島県内からが多く、特に近隣エリアからの来訪が伸びている。年代別では、30代以上のファミリー層の増加が目立つ。高速道路からのアクセスが良く、県外の競合スキー場と比較しても立地上の優位性があることから、県外からの来訪者も一定数取り込んでいる。主な商圈は広島県、福岡県、山口県であり、直近の来訪者数の伸びは、特に広島県内からの来訪者の増加が主因となっている。

特徴

- 広島県内からの来訪が中心
- 近隣エリアからの来訪者が増加傾向
- 福岡県・山口県からの来訪者も一定数存在
- 高速道路からのアクセスの良さが強み
- 直近の増加は広島県内客が牽引

(2) 安芸太田町（恐羅漢スノーパーク）

県内8スキー場の中でも来場者規模が最大級である。福岡県からの来訪者が増加している。来訪者の年代は40代～60代が中心となっている。県外の競合スキー場と比較した際、距離はあるものの、多様なコースを有することが強みとなっている。廿日市市とは福岡県・広島県を中心に商圈の一部が重なるため、コースの多様性など施設特性を活かした差別化が必要だと考えられる。

特徴

- 県内 8 スキー場の中でも最大級の来場者規模
- 福岡県からの来訪者が増加傾向
- 40 代～60 代の来訪者が中心
- 多様なコースが強み
- 廿日市市と一部商圏が重なるため、施設特性による差別化が重要

(3) 北広島町（ユートピアサイオト・芸北高原大佐スキー場・やわたハイランド 191 リゾート）

気象条件による来場者数の年ごとの変動が大きい。来訪者は広島県内からが圧倒的に多く、次いで山口県、福岡県となっているものの、県外からの来訪規模は比較的小さい。年代層は、広島県内からの来訪者を中心に 40 代以上が多い傾向にある。

特徴

- 気象条件による年ごとの変動が大きい
- 広島県内からの来訪が圧倒的に多い
- 山口県、福岡県からの来訪が続くが規模は小さい
- 40 代以上の来訪者が中心

(4) 庄原市（ひろしま県民の森・りんご今日話国スキー場・道後山高原スキー場）

県内 8 スキー場の中では来場者規模が最も小さく、積雪状況による来場者数の変動を強く受ける傾向にある。来訪者の多くは広島県内からであり、特に福山市・三次市など広島県東部エリアからの来訪が中心となっている。県外では岡山県からの来訪が比較的多く、倉敷市などが主なエリアとなっている。一方、福岡県・山口県への広域的なプロモーションによる来訪者の増加は限定的であり、現状では県外市場よりも、近隣エリアを中心とした集客が主となっている。

特徴

- 県内 8 スキー場の中では来場者規模が最も小さい
- 積雪状況による来場者数の変動が大きい
- 福山市・三次市など備後エリアからの来訪が中心
- 県外では岡山県からの来訪が比較的多い
- 福岡県・山口県からの来訪は限定的
- 県外誘客よりも近隣エリアからの集客が中心